

一般質問 その後を追跡

Vol. 8

皆さまのご意見・ご感想を
お待ちしております。

連絡先

鷹栖町議会事務局

☎ 0166-87-2111 (内線301・304)

✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

鷹栖町

Search

議会報では、定例議会毎に一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたのか、質問の一部を追跡しました。(平成22年3月～12月)

質問 ▶ 12月定例会

「オオカミの桃」生産量減の責任は誰にあるのか

「オオカミの桃」の生産がピーク時の半分になっているが、その責任は誰にあるのか。また、23年度からの増産計画と、原料トマトの購入価格は、

答弁 ▶ 町長

増産に向けてさらに努力

生産量減少の責任は、社長である町長にあります。増産に向けては、キロ単価を150円に上げ、苗木・ハウス用ビニール更新と野菜全体の振興策として堆肥にも助成をします。

追跡 ▶ その後…

平成23年は増産

生産量は、昨年の約31万本に対し、23年は約36万本と5万本の増産となった。今年の評価・反省を関係機関と連携してなるべく早い時期に行い、来年の生産振興・原料確保に努めていく。また、公社・町が今年から行うハウス新設等の助成については、数件の利用が見込まれており、来年以降の作付けの拡大が期待される。

質問 ▶ 12月定例会

楽しい健康づくりの工夫を

特定健診の受診率は目標を達成していない。町民が自分の健康づくりに興味を抱くような、いろいろな工夫を考えてはどうか。

答弁 ▶ 町長

自らの健康は自ら守る意識で

以前から鷹栖町は「健康のまち」であり、自らの健康は自らが守ることを前提に、いろいろな形で住民の皆さんが取り組みをしています。「生涯元気」のキャッチフレーズのもと、ふまねっと運動やいきいき遊び塾など自らが健康を意識する事業もある。皆さんの意見を聞きながら、地域の活性化につながる健康づくり事業を進めていきたい。

追跡 ▶ その後…

新たな取り組みで一層の健康づくり

23年度から新たに「生涯元気課」ができ、より一層の健康づくりに取り組んでいる。年齢性別を問わず気軽にできてエクササイズの効率が非常に良いノルディックウォーキング、食事のアドバイスや運動の指導まで含めたメタボ教室など、新たな取り組みも始まる。以前までの事業と合わせ、子どもからお年寄りまで、それぞれに対応していく。特定健診の受診率は道内でも低くはないが、引き続き呼びかけをしていく。

質問 ▶ 12月定例会

町営バスの運行見直しを

町営バスの運行は業者に委託されており、鷹栖循環線と知遠別線が運行している。乗車人数が年々減少している状況の中で、バス運行を整理統合し、町民が利用しやすい運行ができないか。

答弁 ▶ 町長

効率的な運行方法を工夫

当面の取り組みとしては、運行の効率化や交通弱者の問題の解決に向けて、現在の体系を検討したい。利用者の減少対策については、減便や路線の変更ができるのか、それに代わる対応として申込制での運行なども含め考えていきたい。

質問 ▶ 平成21年6月定例会

地元産の食材を給食に

学校給食に、地元産野菜の使用や、鷹栖の米を全量使った温かいごはんを出すことはできないか。

答弁 ▶ 教育長

地元産の食材を多く取り入れたい

野菜については、農業経営者同友会等から提供していただき、鷹栖産の食材を多く取り入れていきたい。鷹栖産の米使用には、自校炊飯・委託炊飯・給食センターでの炊飯などの方法が考えられるが、調査研究し、鷹栖の米を子どもたちに食べてもらえる方法を見いだしていかなければならないと考えている。

追跡 ▶ その後…

鷹栖産米の米飯給食を試験的に実施

22年度は試験的に、町内の米を使った給食を10月に2回実施した。今後も安全安心な鷹栖産の食材を取り入れる。

質問 ▶ 12月定例会

地区住民センターと小中学校の図書整備を

各地区住民センターの図書コーナーの設備と蔵書内容が不十分である。改善と今後の運営をどう考えるのか。児童生徒の学力向上のために、多傾向の図書を継続的に備え、本に親しむ環境整備を行うことが必要ではないか。

答弁 ▶ 教育長

学校図書は教育活動に重要

地区住民センターの図書購入費は100万円程の予算内で年間600～900冊購入している。多くの方に読んでいただくために、新刊書をバランスよく配置し蔵書の交流を行います。また、北野地区住民センターの図書コーナーの改修計画を予定しています。小中学校の図書は、22年度にいただいた高額寄附と町予算で計1,120冊を購入。子どもたちの思考を深め、創造力を養うためにも図書の充実を図りたい。

追跡 ▶ その後…

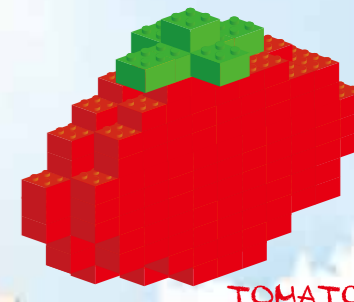
予約制を導入

23年4月1日から町営バスの効率的な運行を図るため、知遠別線の14線17号以北を予約制で運行している。

追跡 ▶ その後…

図書・設備を充実

図書環境の整備を図るため、鷹栖小学校、北野地区住民センターの本棚等を購入。23年度に入ってから蔵書購入は、学校が1,055冊、住民センターが1,001冊と、着実に蔵書数が増えてきている。



TOMATO

